

あなたと議会をむすぶ

議会広報
平成26年5月
第138号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



白神の森遊山道（ミニ白神から名称変更）が4月20日オープンしました。当日は、東條町長、杉澤観光協会会長、そして、ユネスコの世界遺産活動特別大使犬（ワンバサダー）であるわさおがネームプレートの除幕を行い、オープンを祝いました。

3月議会
定例会号

- 2 3月定例会のあらまし
- 3 討論・採決
- 4 平成26年度当初予算
- 5 予算特別委員会の審査
- 6～9 一般質問（5議員）
- 10 新連載 まちの元気を目指して

平成26年
3月定例会
3月3日～3月14日

予算特別委員会・各常任委員会の審査を経て
各会計当初予算案などを可決

平成二十六年第一回定例会（三月議会）が三月三日から三月十四日までの日程で行われました。初日には、東條町長が新年度の施政方針を表明。また、十一日には、五人の議員が一般質問を行いました。本定例会に上程された議案は、予算特別委員会及び各常任委員会で審査された後、再度、最終日の本会議に付され、すべての議案（追加された議案も含め）は、原案どおり可決、承認、同意されました。



本会議初日、町長の施政方針を聞く議員

なお、議案第十四号及び議案第二十八号の両議案に対しては、討論が行われましたが、その内容は、次ページに掲載しています。



総務文教常任委員会の審議風景



産業建設常任委員会の審議風景

※全国町村議会議長会編『議員必携』より

三月定例会に上程された当初予算案以外の主な議案は、次のとおりです。
◎消費税率が八パーセントに引き上げられることに伴う町規定の使用料等の改定
改正する条例は、町公民館条例など十八の条例
◎町水道事業給水条例の一部改正
消費税率が引き上げられることに伴い、水道料金及び加入金の額を改定

◎町公共下水道条例の一部改正
消費税率が引き上げられることに伴い、公共下水道の使用料の額を改定するもの
◎町財産区管理会設置条例の一部改正
浜横沢財産区議会の解散に伴い、設置される浜横沢財産区管理会の組織及び運営に関する条例の制定

◎町特別職等の職員の給与の特例に関する条例の一部改正
町の財政状況を考慮し、職員管理職手当、期末手当及び勤勉手当を臨時的に減じるもの
◎町一般会計補正予算
歳入、歳出それぞれ8302万円を減額し、

減の自主減額期間を平成二十六年十二月三十一日までとするもの
◎町一一般会計補正予算
歳入、歳出それぞれ8302万円を減額し、三氏を選任

◎町特別職等の職員の給与の特例に関する条例の一部改正
町の財政状況を考慮し、副町長及び教育長の期末手当を臨時的に減じるもの。また、町長の給料半減の自主減額期間を平成二十六年十二月三十一日までとするもの
◎浜横沢財産区管理会管理委員の選任（追加議案）
町財産区管理会設置条例の規定に基づき、佐藤豊四郎氏、佐藤清昭氏、長谷川武氏、澁谷喜八郎氏、石井武則氏、本間正三氏を選任

歳入歳出予算の総額を70億3794万円としたもの
主な増額補正は、昨年、大雨により被害を受けた二丁目高校線等の道路災害復旧事業（十五路線）1392万円、同じく被害を受けた河川災害復旧事業（十七か所）681万円など
◎浜横沢財産区管理会管理委員の選任（追加議案）
町財産区管理会設置条例の規定に基づき、佐藤豊四郎氏、佐藤清昭氏、長谷川武氏、澁谷喜八郎氏、石井武則氏、本間正三氏を選任

ひとくち解説
討論とは

討論とは、議題となっている事件に対して、自己の賛成または反対の意見を表明することです。その目的は、自己の意見に反対する議員及び賛否の意思を決めていない議員を自己の意見に賛同させることにあります。

したがって簡単な賛成、反対の意思表示は討論とは言えず、賛成または反対についての理由を明確に述べながら賛否を議論することになります。

また、○○の部分を除いては賛成などの条件付き討論は、できないことになっています。

討論の順序は、最初は反対者。次に賛成者、次は反対者と交互に発言することになっています。

※全国町村議会議長会編『議員必携』より

一般会計予算 **66億2,000万円**

総予算額 **109億1,243万円**

平成26年度当初予算案を原案どおり可決

平成二十六年第一回定例会において平成二十六年度町一般会計及び特別会計、企業会計予算案が委員会審査を経て、本会議で可決され、今年度の当初予算が決定しました。

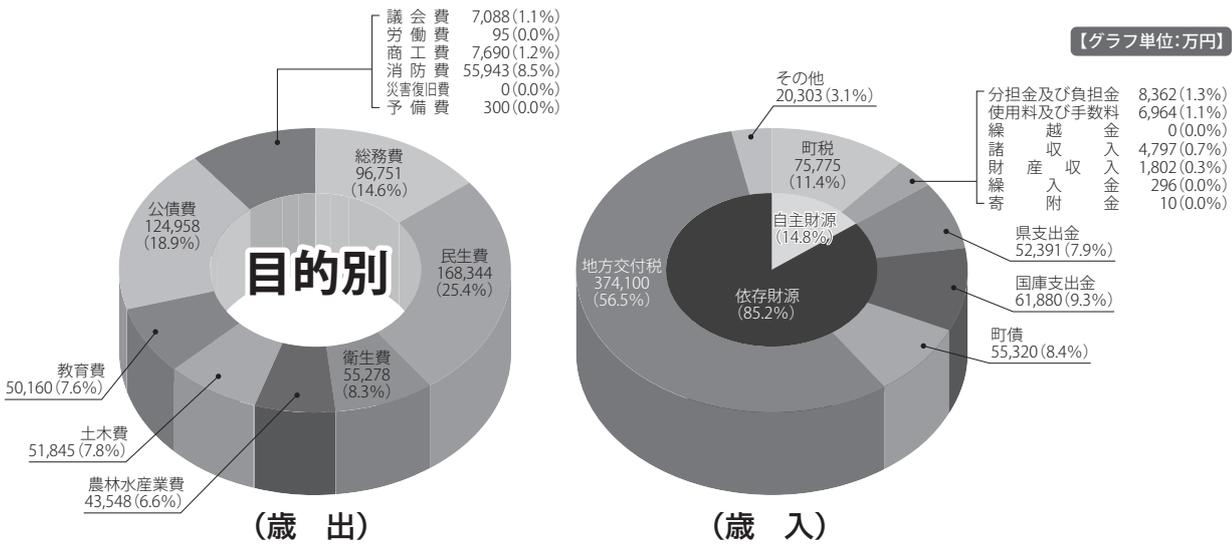
予算の内容

予算の規模は、一般会計及び9つの特別会計並びに水道事業会計合わせ109億1243万円となり、前年度に対し8323万円の減額(0.8%)となっています。

当町の一般会計予算は、24年度決算で累積赤字を解消したものの財政の健全化を判断する4つの指標のうち2つが全国ワースト10内の順位となっており、未だ厳しい財政状況にあると言わざるを得ません。

今後とも引き続き、無駄のない行政運営、歳出削減などの自助努力が求められています。

一般会計予算の割合



平成26年度一般・特別・企業会計予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)
一般会計	66億2,000万円	66億7,400万円	-5,400万円	-0.8
以下 特別会計				
国民健康保険事業	17億7,911万円	19億0,909万円	-1億2,998万円	-6.8
簡易水道事業	1億8,314万円	1億5,614万円	2,700万円	17.3
農業集落排水事業	1億3,491万円	1億3,576万円	-85万円	-0.6
小規模水道事業	2,410万円	381万円	2,029万円	532.5
公共下水道事業	2億6,080万円	2億2,243万円	3,837万円	17.3
介護保険事業	14億5,616万円	14億9,575万円	-3,959万円	-2.6
墓地公園事業	39万円	19万円	20万円	105.3
後期高齢者医療	1億2,459万円	1億2,144万円	315万円	2.6
水産業振興事業	2,329万円	2,614万円	-285万円	-10.9
以下 企業会計				
水道事業	3億0,594万円	2億5,091万円	5,503万円	21.9
合計	109億1,243万円	109億9,566万円	-8,323万円	-0.8

委員会
審査

原案
どおり
可決

成立

予算特別委員会の審査

新年度当初予算成立の手順は、一般会計予算は、議員全員で構成する予算特別委員会、その他の特別会計、企業会計予算は、それぞれ分野ごとに総務文教常任委員会（構成委員六名）、産業建設常任委員会（構成委員六名）で審議。

委員会では審議された結果は、最終日の本会議においてそれぞれの委員長が報告し、採決の結果、可決された場合、予算が成立することになります。このページでは、予算特別委員会で審議された内容を一部抜粋、要約してお知らせします。



予算特別委員会（委員長・坂牛淳治議員）の審議風景

【問（齋藤議員）】職員の給料を戻す計画はあるのか

【答（総務課長）】二十六年度は、今年度と同様の減額措置を。二十七年度は、今年度の削減率よりは緩和する方向で検討。

【問（一戸議員）】地域公共交通会議の内容とメンバー構成は

【答（政策推進課長）】主に町内の路線バスについて検討する会議。メンバーは、交通関係の事業者、国、県などの関係団体、住民で構成。

【問（齋藤議員）】地域おこし協力隊事業の内容は

【答（政策推進課長）】総務省の作った制度で、都市圏から地方に来ていたため、地域の活性化のため様々な業務をしていたというもの。鯉ヶ沢町では、二人を採用。

【問（長谷川議員）】観光客から苦情が出ているくろくまの滝トイレのカメムシ駆除の考えは

【答（観光商工課長）】カメ

ムシが発生する秋口に、職員が期間を集中して駆除。



くろくまの滝お手洗い

【問（齋藤議員）】青少年旅行村の予算が昨年度より二百三十七万円増えているが、その要因は

【答（観光商工課長）】ログハウスなどの老朽化に伴う修繕、備品の購入、また、重機のリース等による。

【問（神議員）】ため池点検委託料の内容は

【答（農林水産課長）】二十六年からスタートする事業。対象となるのは、水田の受益面積二ヘクタール以下のため池二百二十か所。

【問（今議員）】牛島、姥袋等への水道の敷設は

【答（水道課長）】水道事業会計の状況は悪化してお

り、非常に難しい状況に変わりはしない。

【問（一戸議員）】消防団の緊急時の日当は、国が示している基準では七千円であるが、ほとんどの消防団が下回っている。見直しは

【答（総務課長）】消防団活動の交付税措置は、消防団の年報酬だけの部分であり、年間の消防団経費を考えると難しい。



1月7日に行われた消防団出初式

【問（長谷川議員）】中学校の夏休み、冬休みの部活動に対するバスの充当が十分にできていないようだが、考えはあるか

【答（教育課長）】学校の中で部活動の時間を話し合っていて、現状の状況となっている。今後も保護者の意見、学校などの意見を聞きながら直せる部

分は直していきたいと思っている。

【問（一戸議員）】就学援助の対象となるのは、四大家族で四百万円以下の所得となっているようだが、その周知は

【答（教育課長）】全生徒に対してチラシを配布している。最終的には、六月初めに決定するので、それまで仮という形で援助している。

【問（長谷川議員）】施政方針に地区公民館を積極的に活用するところがあるが、その予算措置は

【答（教育課長）】地域で考へ行動するリーダーの育成、公民館活動の機能の活性化を趣旨に、これまで行ってきた事業を検証し、あえて予算は計上していないが、新たに事業を展開していく予定。

【意見（長谷川議員）】予算は、町民に対するメッセージに代わるべきものである。積極的に取り組むのであれば、計画に沿って予算を請求するべきだと思ふ



齋藤 孝夫議員

町長の給料は元に戻すのか 〈答 今後減額率を検討し議会に提案〉

町長の給料半減は十二月までなのか
圃・今回、町長の給料半減の自主減額期間を、今年の十二月三十一日までとする条例改正案を提出しています。

これは、来年から給料を戻すことだと思いが、町の財政が非常に厳しい中、町民に我慢してもらい、町職員も長期にわたり給料を削減し、努力してきました。
我々議員も議員定数の削減を行うとともに、県内でも一番低い報酬にして、財政再建団体に落ちないようがんばってきました。
このような状況の中、自分だけが給料を元に戻すなど、考えられない暴挙に感じます。せめて先に職員の給料をいくらか

でも戻すとか、町に協力している組織、団体に助成を増やすなど、この先やらなければならないことがあると思います。今回は、その一つを質問します。
答弁・町長
前回の議会で、一年

間(二十六年中)は給料を半分にする。その後は、戻してもらいたいという説明をしたと思いますが、百パーセント戻すわけにはいかないだろうと思いますので、十二月の時点で減額率を検討して、議案として提出したいと思

料も半額でなくても、今後、減額率を考えていくということでもいいですか。
答弁・町長
はい。
※鱒ヶ沢町の議員報酬と町長の給料
当町の議員報酬月額額は16万4千円(一般議員)。町長の給料月額額は35万3千5百円(半減額)となっています。ともに青森県内の町村で最下位の額となっています。
町でもこれらの枠組みに参画しながら町商工会、観光協会、白神山地と赤石溪流の観光を考える会等と協力、連携しながら事業を行っていくことにしています。
世界自然遺産登録二十年目の年である平成二十六年度も、県、関係自治体等が白神山地に関連する事業を継続して展開することになっています。



神 孝議員

消防団の減少にどう対処するのか

圃・災害時に、町民の生命、財産を守るため第一線で働く消防団員の減少は、私も消防団員でありますので、大変心配しています。
団員の減少について、町としては、どのような

消防団員の減少に対する考えは 〈答 モデル地区として長平・和開の統合を検討〉

考えを持っているのかお聞きします。
答弁・消防長
現在、当町においても過疎化、少子高齢化によって若年層の減少が進み、消防団の退団員の補充が思うようにできない状況にあります。

先般、全消防団部長級以上の方の会議を開き、部の統合について協議しました。順次実施していくべきということになりました。
まずモデル地区として長平、和開地区の統合を進めることにしており、統合後の取り決めや課題等を検討中です。
今後長平、和開地区を参考に、二十六年中にほかの地域の統合も進めていく予定です。

世界自然遺産白神山地の取り組みは

圃・白神山地が世界自然遺産に登録されてから二十年になります。先般の環境庁の調査で、平成十六年以降十年間で最も入山者が少なかったということが報じられています。これから町として、白神山地に対してどのような取り組みを行っていくのかお聞きします。
答弁・観光商工課長
世界自然遺産登録二十年目の年である平成二十六年度も、県、関係自治体等が白神山地に関連する事業を継続して展開することになっています。
町でもこれらの枠組みに参画しながら町商工会、観光協会、白神山地と赤石溪流の観光を考える会等と協力、連携しながら事業を行っていくことにしています。
連携事業として地元食材を利用した料理のブランド化や加工品の開発PR、エコツーリズムの推進などのほか、町単独事業としてふるさと大使(舞の海)を活用したPR事業、案内看板整備などの事業を実施することになっています。
また、白神山地と赤石溪流の観光を考える会では、地元住民目線でPRするため観光資源マップの作製、配布を計画しています。



一戸千代久議員

中山間地域直接支払制度の事業展開は 〈答〉 最大限の利益がもたされるよう対応

答弁・農林水産課長

農地の補助金を受けられる対応を

農・農業の後継者は少なく高齢化が進んでいます。後継者がいても農業の長期展望は厳しく、不安な要素が多くあります。

特に中山間地域での農業の営みは、一層厳しいものがあります。農地を集約しようとしても全体の面積が少なく、耕作面積の拡大には無理があります。

高齢化した集落では、集落営農も望めず、多くの山村集落は、農業の衰退とともに集落の消滅が間近に見えてきたように思います。

そこで、中山間地域の直接支払交付金の今後の事業展開は、どのように考えているのかお聞きします。

中山間地域の交付金事業は、耕作放棄地を解消することと田畑の持つて

いる多面的な機能を維持、確保することを目的としており、平場の農地よりも生産条件が不利になる山間地域について、その条件の不利を補正するために交付金を支給する制度です。

この制度は、平成二十二年からスタートしています。五年間を第一期対策としており、現在、第二期を経て第三期対策になっていますが、農政の大改革ということで、日本型交付金という制度も来年度からスタートすることになっており、目まぐるしく動いている状況にあります。

この制度は、年々見直し等が繰り返されていますが、その制度に則っ

て町でも地域にとつて最大限の利益が持たされるよう対応していきたいと思っております。

農・減反補償の廃止に伴い、これまで特別転作奨励補助金の対象外についても、飼料米等の作付けにより補助金が受けられる農地にする対策をするべきではないですか。

米の生産調整は平成三十年で廃止ということがうたわれましたが、転作の奨励金については、まだ廃止とうたわれていません。国も水田のフル活用ビジョンの策定ということもあり、主食米以外の麦とか大豆とかなどは、さらに国も作付けを誘導していくというような流れがありますので、転作奨励金というものは、今後

も続いていくのではないかと思っています。転作奨励金は、国の制度に則つていくものから、当然その主旨に沿った対象農地というのもありますので、今後の動向を見極めながら最大限の利益を受けられるように、その事業の中身を精査して対応していきたいと思っております。

かと思っております。

転作奨励金は、国の制度に則つていくものから、当然その主旨に沿った対象農地というの

中村川の土砂撤去の要望を

中村川の防災についてお聞きします。近年、局地的に豪雨が発生し、各地に大きな被害が出ています。

当町でも短時間に八月三十日から三十一日に百ミリ、九月十五日から十六日には百四十六ミリと先の防災講演会で数値が

出されています。今回の異常降雨により濁流水が堤防を越え、農

地に流水し、田んぼが冠水しましたが、こうした農地被害を防ぐために、河川内に堆積した土砂を除去することを県に要望できませんか。

答弁・建設課長

中村川に堆積した土砂の撤去については、すでに要望しており、その一部は、

今の三月に発注予定というのを聞いています。

また、土砂の堆積場所は、広範囲にわたっており、土砂量もかなり多いと思いますので、一気に解消することは困難だと思えますが、来年度以降も引き続き撤去作業を要望していきたいと思っております。

答弁・町長

県の土木部長には、川の土砂を撤去してほしいと何回となく要望しています。近日中に鯉ヶ沢に来る



土砂が堆積している中村川(向平付近)

予定になっていきますので、その際にもお願いしたいと思っております。

一部堤防のないところがあります。早期に堤防を作ることを県に要望できませんか。

今回の災害で川の水が堤防を越流して、農地に被害を及ぼしましたが、その場所が今回の災害で

判明したと思っております。そういうところを早期に改善していただくように、県に強く要望していきたいと思っております。



鶴田 悦子議員

サル の 調査 内容 と 処分 の 方法 は

圃・せつかく育てている野菜をサルに根こそぎ取られているのは、鱈ヶ沢地区や舞戸地区の中心街を除いて、ほとんどの農家と言ってもいいほどです。まして集落から離れたところの畑は、全滅であるようです。

町ではサルの生息数を調査すると言っています。だが、だれがどのような方法でするのか。また、駆除されたサルの数、サルの処分の方法をお知らせください。

答弁・農林水産課長

サルの農作物食害対策についてお答えします。

サルの被害は、頭を抱える問題ですが、その対策としては、サルを追い払うこと、捕獲するとい

地区公民館を活用する事業計画は 〈答〉異世代交流と子供を見守る事業を展開

うことを主にこれまで実施しています。

生息調査は、むつ市の団体、サル専用のこのような種類の業務を扱う団体に委託して行います。

次にどのくらい駆除されたのかということですが、十八年度から二十五年度までの合計が二百六十頭です。近年、年五十頭近くを捕獲しています。駆除された後どうするかということですが、捕獲は銃器によるものと



近年、頻りに農地に出没しているサル

わなによるものがあります。わなにかかったものは、情報を受けると町職員が赴いて、そこでガス処理して、その後斎場に持ち込み、焼却処分しています。

銃器による場合は、原則として、その場での埋却ということになっています。

公民館の積極的な活用方針は

圃・施設方針に地区公民館を積極的に活用して、異世代の交流や子供を見守る公民館活動をする

あります。どのような計画をもとに積極的に活用されるのか。具体的な計画をお知らせください。

答弁・教育課長

地区公民館では、地域の意見や要望を取り入れながらまちづくり組織や

婦人団体の支援業務などを行い、元気あるまちづくりを目指して取り組んでいます。

特に来年度は、公民館職員と子育て世代の地域リーダーが一緒になって、少子化により交流が少なくなった地域の親世代、祖父母世代の交流を促し、地域全体で子育てや子供を見守ることのできる環境づくりを目指した事業を展開していきたいと計画しています。

圃・これまでの公民館は、貸館のような傾向もありました。今、聞くと地域ぐるみ、各団体と一緒にがんばっていくということなので非常にいいことだと思えます。

答弁・教育課長

施設方針にも載っていますが、町では元気のま

ちづくり、特に健康に力を入れていくということ。平成二十六年、町民の元気推進会議を組織します。

教育委員会、学校でも食育、また、ふるさと応援基金を活用した中学生のメタボ検診などをやっています。生活習慣の改善ということについても、ほかの部署と連携しながら地区公民館において取り上げていこうと思っています。

清潔の保持の啓発活動

圃・町内外の人の中で鱈ヶ沢町がだんだん汚くなった、植えている木や辺りに生えている雑草、花壇に植えている花など、管理がずさんで町全体の美化に影を落としている、と言っている人がいます。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第五条清潔の保持等において、それぞれの家庭で家の中や外を清潔にしなければ罰せられることもあり得るとあります。このことを折に触れて普及し、様々な機会に啓発活動をしていただきたいと思います。この問題についてのご所見をお聞きます。

答弁・福祉衛生課長

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第五条には、清潔の保持等についてうたわれています。

土地または建物の占有者は、管理する土地または建物の清潔を保つように努めなければならないとあります。

実際、隣の屋敷の草木が手入れされていないために、害虫などが発生する恐れがあるのでは、という相談を受け、その土地の持ち主を調査し、連絡を取り、その旨をお話して対応していただいたケースもあります。

今後このような相談については、対応していくとともに、住民に対して清潔の保持を保つよう広報などを活用して、周知していきたいと考えています。



今 勝義議員

増加する認知症の予防事業は

圃・認知症の人が、一九六一年から四十年間で七倍に増えています。

予防には、食生活の改善、また、歩きながら引き算をするなど、海馬（記憶や空間学習能力にかかわる脳の部位）を刺激することが効果的だということでもあります。

鱈ヶ沢町でも認知症予防に取り組み考えはないかお聞きします。

答弁・健康ほけん課長

当町においても認知症高齢者は、大変増加しています。

介護認定されている高齢者は、町内で八百七十五人いますが、認定の際の調査では、そのうちの約六十パーセントが認知症ありと判定されています。

認知症予防に取り組み考えは 〈答〉 地域包括支援センターが各種事業を展開

す。

町ではこうした状況を踏まえ、平成十八年度から役場内に介護を包括的に支援するための専門部署として、地域包括支援センターを設けています。

センターには保健師、社会福祉士、主任介護専門員など専門の職員が配置されており、この部署において認知症予防についても取り組んでいます。

当町の取り組みの内容としては、認知症予防の啓蒙普及を図るための健康講座、弘前大学と連携した認知機能のチェック、パソコン等を使った物忘れ検診、それから認知症予防と筋力アップをテーマとしたこにこ健康サロンというものを各地区で行っています。

また、家に閉じこもりがちな高齢者の方の集いの場として、ゆっこの会

というものを週一回、開いている状況です。

そのほか、町の広報を活用した啓蒙普及も行っています。

意見・町でも一生涯命認知症予防に取り組んでいる姿勢が見えています。成果が上がっている食生活の改善、海馬の刺激にも取り組んでいただきたいと思います。

アユの安定生産はできるのか

圃・町では、新年度からアユの一貫生産体制の確立に向けて取り組むとしています。

今後、安定生産はできるのか。また、イトウについても一層販売を促進するとしています。採算は取れているのかお聞きします。

答弁・農林水産課長
現在、県内十九の河川



人気の高い赤石川の金アユ

以上、金額として九百万円前後を販売しています。イトウは、施設も養殖場が所が所ですので、採算は取れています。

日本海拠点館の再オープン

圃・日本海拠点館についてお聞きします。今後の再オープンについて、どのような考えを持っていますか。

答弁・副町長

総務省から各自治体、新たな公共施設管理計画を立てるようという指導がありました。

鱈ヶ沢町にも、統廃合に伴う施設、指定管理を行っている施設、拠点館も含めて様々あります。



現在、図書コーナーだけが開設している日本海拠点館

これらすべての施設について、中長期的に今後かかるであろう維持管理、改修等にかかる費用も含めた財政収支をまず立てる。それから人口も減少してきますので、それらを見込んだ施設の利用需要、この二点からすべての施設をもう一度見直していくことになります。

当然、ご質問にありました拠点館についてもオープンする、しないということではなく、そのような視点で今後協議をし、検討を行っていくことにしています。

これは、まちづくりにかかわることですので、今後、この動きというものは議会に対して、また、町民に対して随時情報提供を行ってまいりますので、ご理解をください。

意見・日本海拠点館は、町のシンボリックな建物であり、町民も期待しています。

何としても早く有効に利用できるようにしてほしいと思います。



長谷川洋子さんプロフィール

夫、光司さんとともに長谷川自然牧場株式会社を経営。農家民宿の経営、各地での食育啓蒙、牧場での体験受け入れなど様々な活動を展開。昨年10月、農林水産省から6次産業総合化事業計画に係る認定を受ける。当町北浮田町在住。

私たちがいただいている命を大切に 六次産業の認可を受け余剰肉を加工・販売

今月号から特集「まちの元気を 目指して」を連載します。元気ある活動をされている方の取材を通して、まちを元気にするための方策を探ります。一回目は、六次産業など様々な活動を精力的に行っている長谷川洋子さんにお話を伺いました。聞き手は、鶴田悦子、長谷川統一広報委員です。

Q 昨年、六次産業の認可を受けましたが、六次産業を行うおうと思っただきっかけは。
※六次産業とは
農林水産業の生産を主とする第一次産業、これらを原材料として加工する第二次産業、そして、

加工品等を販売する第三次産業、これらを掛けて表現した言葉
A ロース、ばら肉の注文はありますが、もも肉は堅いというイメージがあつて、需要が少なく、どうしても余剰肉になつてしまいます。

命を私たちに与えてくれている豚に、ちゃんと使つてやらないと申し訳ないという思いもありましたし、惣菜として加工し、その販売まで持っていけるのが強みだなと思つて始めました。
Q 鯿ヶ沢町で六次産業の認可を受けたのは、はじめですね。
A 国から補助金をいただくことは難しいという思いがあつたのですが、だれかが一回やってみれば、みんなもついてきてくれるのではないかと

長谷川自然牧場の豚肉

長谷川自然牧場では、自然循環型農業を実践し、安全で安心して食べられる卵、豚肉、加工品などを提供しています。同牧場の豚は、通常(6か月)の養豚より4か月長く飼育。豚肉は、肉質も良く安全な食材として日本テレビ「どっちの料理ショー」でも取り上げられ、全国的にも有名。

Q 牧場のスタッフはどのくらいいますか。
A 厨房の人が三人。本格的なシェフ一人。施設全体では十三人ですね。五所川農林高校の新卒者も去年は一人、今年は二人入っています。
Q 雇用の面でも大きな貢献をされていますね。ところで、いろいろなところから研修生を受け

入れたり、また、引きこもりの子とか不登校の子とかも受け入れたりしているようですが、その辺のエピソードをお聞かせ願いたいのですが。
A 私たちは病気を治してあげようとか、いい子にしてあげようとかかと思つて受け入れているのではないのですが、不登校の子でも三週間で学校に行き始めた子もいます。
生き物を育てていくのは、人間が育つのと同じだと思つし、自然の営みの中から学んでいくこと、そういった力はすごいなと思えますね。
Q 今後の活動は。
A おいしい肉を作つて

Q 最後に将来の夢は。
A 長谷川(夫・光司さん)の夢は、岩木山がきれいに見えるこの場所です。牧場内を案内したお客様においしいとんかつを食べさせたいな。

そのためには、住む場所が必要なんです。いろいろな問題はありますが、空き家などを活用して、若者の定住に努めべきだと思えます。
Q 町を元気にするためキーワードは、何でしょう。
A 長期グリーンツーリズムなどの催しを積極的に行つて、若者を呼び込みたいと思つています。町外から若者を呼び寄せないと活性化は難しいと思つています。

おお客様がわざわざ牧場に買いに来る。来た人が鯿ヶ沢にいくらかでもお金を落とすとしていく、そういう循環ができればいいなと思つています。
Q 町を元気にするためキーワードは、何でしょう。
A 長期グリーンツーリズムなどの催しを積極的に行つて、若者を呼び込みたいと思つています。町外から若者を呼び寄せないと活性化は難しいと思つています。